# 保証書

**持込修理　無料修理規定**

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
   (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ)本書のご提示がない場合
   (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
   (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 商品名 | 2.1chマルチメディアスピーカーシステム | | | ★お買い上げ日：　　年　　月　　日 |
| 型　番 | ASP-2043H | 品　番 | 03-2043 | 保証期間：本体1年間(お買い上げの日から) |
| お客様 | ★お名前　　様<br>★ご住所　〒　　ー<br>電話　　( ) | | | |
| 修理メモ | | | | |
| 販売店 | ★住所　店名　電話<br>㊞ | | | |

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。


OHM　株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　お客様相談室 へ
●通話料無料　0120-963-006
●携帯・IP・公衆電話からは　048-992-2735
電話受付　平日 9：00～17：30　土曜 9：00～17：00
日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は　修理ご相談センターへ
電話受付　048-992-3970　平日 9：00～17：00
土・日・祝日及び年末年始は除きます


03-2043A

AudioComm®

# 取扱説明書 保証書付

## 2.1chマルチメディアスピーカーシステム

型番：ASP-2043H
品番：03-2043

**このたびは、AudioComm® 2.1chマルチメディアスピーカーシステムを**
**お買い上げいただき、誠にありがとうございます。**

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

## 目　次


免責事項……1
安全上のご注意 ……1〜2
各部の名称……3
接続のしかたと設置例 ……4
操作のしかた ……5
故障かなと思ったら ……5
お手入れ方法……6
主な仕様……6
保証書とアフターサービスについて ……6
保証書……裏表紙


## 免責事項

**下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。**

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

## 安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

### 絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠ 危険 | この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。 |
| ⚠ 警告 | この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。 |
| ⚠ 注意 | この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。 |

### 絵表示の使用例

| | |
|---|---|
| | △記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。<br>（左図の場合は感電注意が描かれています。） |
| | ○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。<br>（左図の場合は分解禁止が描かれています。） |
| | ●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。<br>（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く、が描かれています。） |



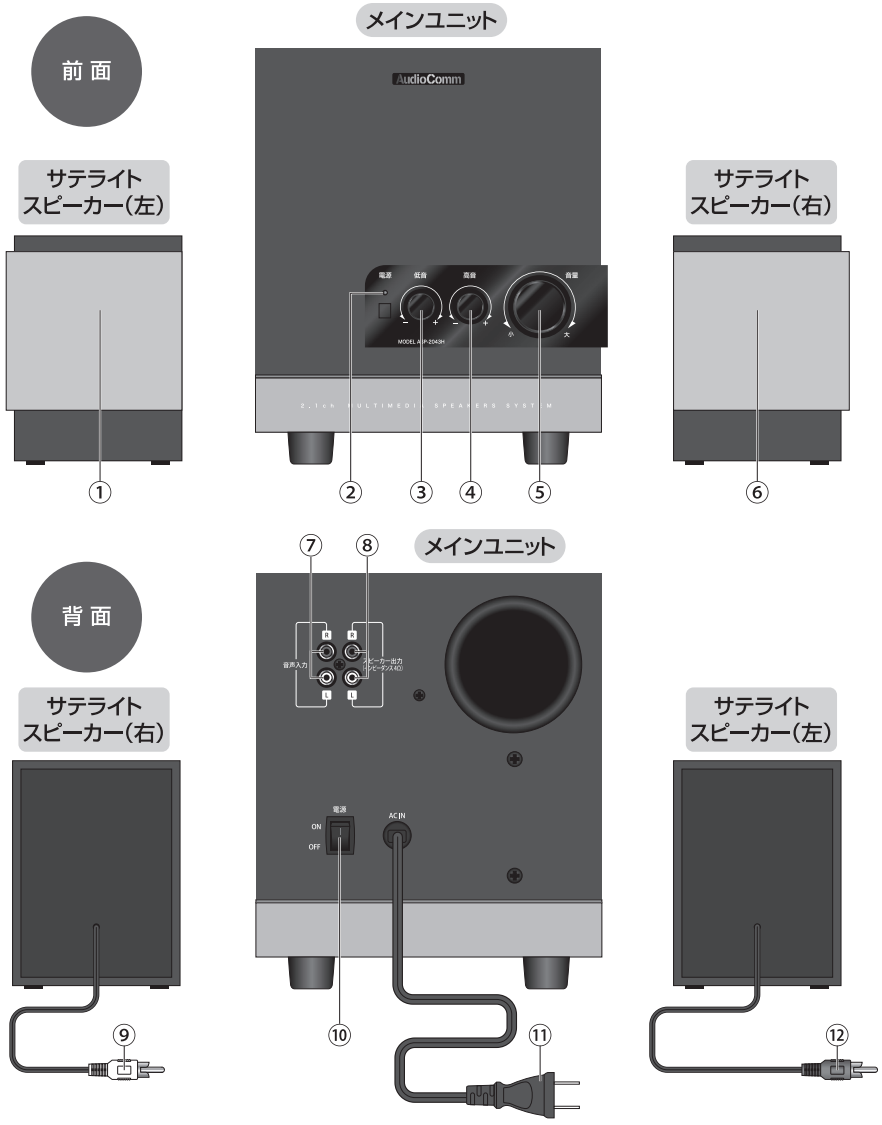
## ⚠ 警告

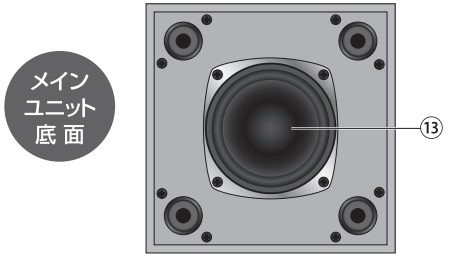
| | |
|---|---|
| <br>コンセントから抜く | **万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く**<br>●火災・感電の原因になります。<br>●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。 |
| <br>コンセントから抜く | **サブウーファーのポート（メインユニット背面の開口部）にものを入れたり落としたりしない。万一、内部に異物や水などの液体が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く**<br>●火災・感電の原因となります。<br>●販売店にご連絡ください。 |
| <br>分解禁止 | **本機を分解、修理、改造しない**<br>●火災・感電の原因となります。 |
| <br>禁止 | **海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない**<br>●火災の原因となります。<br>●この機器を使えるのは日本国内のみです。 |
| <br>修理を依頼 | **電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、使用を中止する**<br>●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。<br>●修理をご依頼ください。 |
| <br>接触禁止 | **雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び電源コードに触れない** |
| <br>禁止 | **本機や電源コードに重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない**<br>●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。 |
| <br>禁止 | **表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない**<br>●火災・感電の原因となります。 |
| <br>禁止 | **電源コードを敷物などで覆わない**<br>●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。 |
| <br>禁止 | **電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない**<br>●コードが破損して火災・感電の原因となります。 |
| <br>禁止 | **浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない**<br>●感電や故障の原因となります。 |

## ⚠ 注意

| | |
|---|---|
| <br>禁止 | **ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない**<br>●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 |
| <br>禁止 | **電源コードを熱器具に近づけない**<br>●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。 |
| <br>禁止 | **窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない**<br>●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。 |
| <br>濡れ手禁止 | **濡れた手で電源プラグを抜き差ししない**<br>●感電の原因となることがあります。 |
| <br>コンセントから抜く | **お手入れの際や移動させるときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く**<br>●コードに引っかかってケガをしたり、機器の故障、火災・感電の原因になることがあります。 |
| <br>禁止 | **ほこりの多い場所に置かない**<br>●火災・感電の原因となることがあります。 |
| <br>禁止 | **電源プラグを抜くときはコードを引っ張らない**<br>●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。<br>●必ずプラグを持って抜いてください。 |
| <br>コンセントから抜く | **旅行などで長時間本機を使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く**<br>●火災の原因となることがあります。 |

# 各部の名称




①左スピーカー
②電源ランプ
③低音ツマミ
④高音ツマミ
⑤音量ツマミ
⑥右スピーカー
⑦音声入力端子
⑧スピーカー出力端子
⑨スピーカー端子
⑩電源スイッチ
⑪電源プラグ
⑫スピーカー端子
⑬サブウーファー



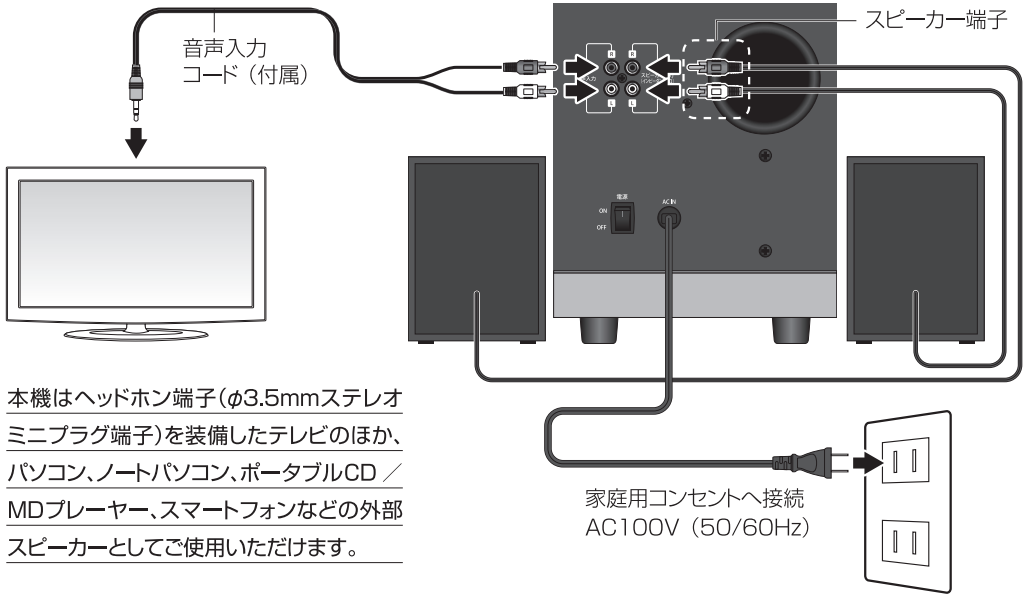
# 接続のしかたと設置例

本機及び音源となる機器の電源が切れた状態で接続してください。

❶ 左右のサテライトスピーカーから伸びるスピーカー端子を、メインユニット背面のスピーカー出力端子に接続します。
右(赤)、左(白)端子をそれぞれ同じ色の端子に接続してください。

❷ 音声入力コード（付属）を使って、メインユニット背面の音声入力端子と、
音源機器のヘッドホン端子（φ3.5mmステレオミニプラグ端子）を接続します。
本機音声入力端子への接続は、右(赤)、左(白)端子をそれぞれ同じ色の端子に接続してください。

❸ 電源プラグを家庭用コンセントへ差し込みます。

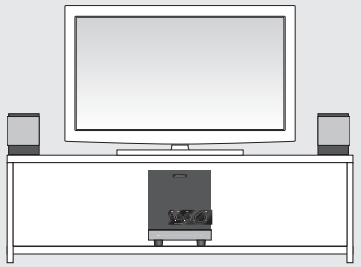



本機はヘッドホン端子(φ3.5mmステレオミニプラグ端子)を装備したテレビのほか、パソコン、ノートパソコン、ポータブルCD／MDプレーヤー、スマートフォンなどの外部スピーカーとしてご使用いただけます。

## 設置例

音声入力コードが届く範囲で、接続しやすい場所にメインユニットを置き、聴く場所から均等距離に左右のサテライトスピーカーを設置してください。

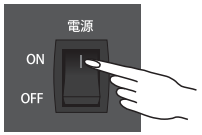
**テレビの場合**
メインユニットをTVボードの中やテレビ背後に設置し、テレビから左右等距離にサテライトスピーカーを置くとバランスの良い音声を楽しめます。



ご注意 メインユニットの背面を壁などにつけたり、底部のサブウーファーに敷物の布などが接触すると、音の出力が妨げられますのでご注意ください。

## 操作のしかた

電源を入れる前に、必ず本機及び音源となる機器の音量設定が最小になっていることを確認してください。




**1** 音源機器の電源を入れます。

**2** 本機背面の電源スイッチを押して電源を入れます。
電源が入ると電源ランプが点灯します。

**3** 音源機器側で再生などの操作をします。

低音ツマミ　音量ツマミ
高音ツマミ

**4** 本機の音量ツマミ及び音源機器側で音量を調節します。
●音源機器側の音量が最小のまま本機の音量ツマミを回しても音が出ません。双方の音量バランスを適切に調節してください。
●音量の上げすぎにご注意ください。

音質の調節方法
●低音ツマミをプラス(+)の方向に回すと低音が強調され、マイナス(−)方向に回すと低音が抑えられます。
●同様に、高音ツマミをプラス(+)の方向に回すと高音が強調され、マイナス(−)方向に回すと高音が抑えられます。

**5** 終了するときは、双方の音量を最小に絞ります。
音楽再生などを行っているときは、音源機器側で停止操作をしてください。

**6** 本機及び音源機器の電源を切ります。
本機の電源を切ると、電源ランプが消灯します。

## 故障かなと思ったら

| 症状 | チェック項目 |
|---|---|
| 電源が入らない | ●電源プラグは正しく接続されていますか。 |
| | ●電源が入っていますか。 |
| 音が出ない | ●音源機器と本機は正しく接続されていますか。 |
| | ●音源機器の電源は入っていますか。 |
| | ●音源機器または本機の音量が最小になっていませんか。 |
| | ●音源機器が消音になっていませんか。 |
| | ●音源機器側で再生などの操作を正しく行いましたか。 |
| | ●ヘッドホン端子にヘッドホンが接続されていませんか。 |
| 音質がよくない<br>音が割れる | ●低音、高音のバランスが崩れていませんか。 |
| | ●本機と音源機器の音量設定のバランスが極端に偏っていませんか(できるだけ同レベルでご使用ください)。 |



## お手入れ方法

本体の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。

**シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない**

## 主な仕様

| | |
|---|---|
| 電源 | AC100V　50/60Hz |
| 消費電力 | 35W |
| 実用最大出力 | 総合出力35W（サブウーファー：15W、サテライトスピーカー：10W×2） |
| 周波数特性 | 35Hz〜18kHz |
| スピーカーユニット | サブウーファー：口径100mm　インピーダンス 4Ω |
| | サテライトスピーカー：口径76mm　インピーダンス 4Ω |
| 接続端子 | 音声入力端子（RCA端子 赤／白）、スピーカー出力端子（RCA端子 赤／白） |
| 外形寸法 | メインユニット：幅193×高さ232×奥行193mm（突起物含まず） |
| | サテライトスピーカー（左右共通）：幅96×高さ127×奥行96mm（突起物含まず） |
| 質量 | メインユニット：約2300g、サテライトスピーカー：約360g（左右共通） |
| 付属品 | 音声入力コード（RCA端子 赤／白ーφ3.5mmステレオミニプラグ）、 |
| | 取扱説明書（保証書付） |

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
※取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

## 保証書とアフターサービスについて

### 保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

### アフターサービスについて

**●調子が悪いときは**
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

**●保証期間中は**
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

**●保証期間が過ぎた場合は**
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。